



学 校 だ よ り

1 月 号

# 都 筑

令和 8 年 1 月 7 日  
横浜市立都筑小学校  
校 長 大 賀 教 晶

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

## 本が好きになる図書館をめざして

校長 大賀 教晶



あけまして おめでとうございます

2026年、年初めは温かく穏やかな日が続きました。皆様方におかれましては、新春を新鮮な気持ちでお迎えのことと存じます。教職員一同、これからも子どもたちと楽しく学習に取り組んで参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

図書館の飾りもすっかり冬模様となりました。12月8日から12日まで都筑小学校では読書週間が開かれていました。図書委員会が企画し、あおなちゃん会議で提案しました。中休みと昼休みに取り組んでいるのは、1つは「すごろくビンゴ」です。図書館に置いてあるさいころを振って出た目の分類図書を読むと、1ますがクリアになります。ビンゴを目指して、いろいろな分類の本を読むことをめざします。もう1つは「学校内クイズ」です。図書館に関係のあるクイズが、ポスターと一緒に校内に貼られています。全6問をといたら答え合わせを図書館の辞典コーナーでします。

中休みと昼休みには、校内クイズの解答場所にいた5年生がスタンプをもちながら、戻されていた本を片付けていました。すごろくビンゴでは、やってきた低学年の子たちがサイコロを振って出た目のますに印をつけてもらっていました。その番号の分類の本を図書委員の6年生と一緒に探しに行きました。番号の分類の本は借りて読むので、カウンターでますにスタンプをもらっていました。「いつもは読まない本にチャレンジしてほしい」「分類の中から自分が興味ある本をさがすのたのしんでもらおう」などと図書委員の子たちの思いが込められている読書週間です。「たくさん読ませよう」ではなく、「いろいろな本に興味をもってチャレンジする」今回の読書週間は、都筑の子たちらしい知的で穏やかな取り組みです。

読書週間はいつもよりも来館者が多いですが、季節に関係なく休み時間に図書館に子どもたちがいます。図書館が校舎の中心にあり、とても利用しやすい場所にあるだけでなく、図書ボランティアの活動が盛んで朝の読み聞かせやパネルシアター、図書館の飾り、本の紹介、本の修繕なども熱心に行っていただいています。その効果もあり、都筑小の子たちは本好きの子が多く、1人あたりの読書量も横浜市平均を上回り、読書を好む児童が多いです。読書のバリアフリー「りんごのたな」の設置や子ども新聞のデジタル機器での閲覧、学校司書の積極的な授業参加など図書館の環境整備も進めています。子どもたちの自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実させることができるようこれからも取り組んでいきたいと思ひます。



「りんごのたな」

自分に合った読書のかたちを見つけよう！